

2023 年4月3日

海事産業強化法に基づく事業基盤強化計画を国土交通省から認定取得

当社はこの度、海事産業強化法に基づく事業基盤強化計画認定制度における事業基盤強化計画を提出し、国土交通大臣の認定を取得いたしました。

本制度は、外航海運分野における国際競争が激化する中、我が国の海事産業における安定的な国際海上輸送の確保を図るために、造船業と海運業の需給両面から総合的な施策により好循環を創出することを目的とし、国土交通省により創設された計画認定制度です。当社では GHG 排出削減を通じて社会に貢献し、また、事業成長を図るべく別添資料のとおり事業基盤強化計画を策定しました。

今回当社が認定を受けた事業基盤強化計画(別添資料)は以下のとおりです。

- ・LNG 燃料エンジン等の性能向上(メタンスリップ対策を含む)
- ・水素、アンモニア、メタノール燃料等の次世代燃料に対応する機関技術の開発 等

当社グループでは、地球環境保全を重要な経営課題のひとつとして捉え、提供する商品やサービスを通じて温室効果ガス削減や、資源の有効利用等に取り組み、豊かな自然環境を守りながら、人々の暮らしの安心安全を支えることで、持続可能で豊かな社会の実現に貢献してまいります。

<参考> 国土交通省 事業基盤強化計画・特定船舶導入計画(海事産業強化法)

https://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_tk5_000068.html

以上

【お問い合わせ先】

営業統括本部 販売企画戦略部

吉田

TEL:03-3279-0868

経営企画室

中尾

TEL:06-6454-2334

ダイハツディーゼル(株)の事業基盤強化計画(抜粋)

企業概要

- 1966年、ダイハツ工業株式会社から船舶用および汎用のディーゼル機関の製造を行う大阪事業部が分離して設立。機関製造の歴史は古く、1907年までさかのぼる。
- 中速ディーゼル機関を中心に、発電用原動機関の製造及び保守サービス等を行っており、大型外航船用発電機関市場では世界シェア26%を占めている。
- 近年では船舶からのGHG排出量削減ニーズに応えるべく、LNGを燃料とする二元燃料(DF)機関をいち早く開発・シリーズ化し、これ迄150台以上受注している。



計画の概要

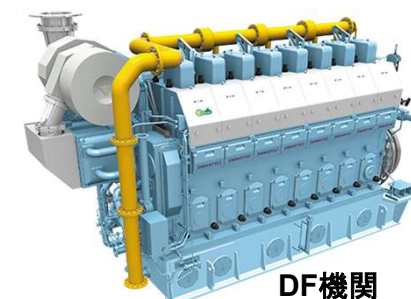
- 在来燃料(重油、バイオ燃料等)機関及びLNG燃料DF機関について、燃料消費率の改善やより混合度の高いバイオ燃料への対応を進める。LNG燃料DF機関については、さらにメタンスリップ※量削減等の性能向上を図った新機関の開発・供給を行う。

※LNG燃料の主成分であるメタンが機関内部で燃焼されずそのまま排出されること

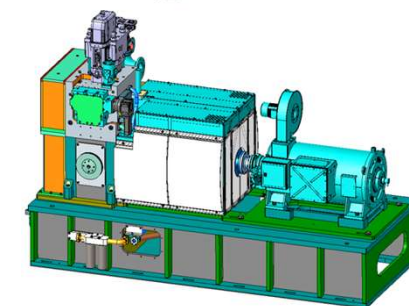
- 船舶のGHG排出量削減に効果のある水素、アンモニア、メタノール燃料等の次世代燃料に対応する機関技術の開発を進める。
- 次世代燃料にも対応可能な機関製造設備の整備を進め、生産効率及び製品品質の向上を図ると共に、次世代燃料機関についても、各種燃料供給インフラの整備状況等を考慮しつつ、そのタイムリーな市場導入に向けた体制整備を進める。

＜計画実施期間＞ 2023年4月～2028年3月

＜実施場所＞ ダイハツディーゼル(株) 守山工場(滋賀県守山市)、姫路工場(兵庫県姫路市)



DF機関



次世代燃料研究
用単気筒試験機